

第5回辻井重男セキュリティ学生論文賞 セキュリティマネジメント学生賞 審査講評

第5回辻井重男セキュリティ学生論文賞には、全体で昨年とほぼ同数の18件の応募をいただきました。内訳は、セキュリティマネジメント学生賞に応募の論文が13件、情報セキュリティ学生賞への応募が5件でした。

セキュリティマネジメント学生賞の審査は、この13件を対象として、12名の審査員により1次審査と2次審査とに分けて行われました。

1次審査では、新規性（新規性が論文の中で主張されているか、先行研究等との関係が示されているか）、有効性（現実の問題についての解や効果が期待できるか）、信頼性（論理展開が明快で主張の根拠が明確に示されているか）を中心に辻井賞の趣旨に照らして適切であるかなども加味し、審査員の専門分野との関連性も考慮して評価が行われました。

2次審査では1次審査の評価が高かった論文を中心に候補論文の絞り込みを行いました。いずれの論文も、辻井賞にふさわしい内容で、真剣にかつ熱のこもった審査が行われました。応募いただいた皆様に感謝いたします。

審査の結果、今年度はセキュリティマネジメント学生賞1編に加えて、セキュリティマネジメント学生論文努力賞1編が選ばれました。

1. セキュリティマネジメント学生賞

- 主筆者 植村 崇史 さん

（東京電機大学大学院情報メディア学専攻）

『DNSとWebブラウザを協調させたWebアクセス制御方式 Request Policy Frameworkの提案と評価』

講評：Webサイトの改ざんを用いる Drive-by download 攻撃に対し、Webサーバ側のホワイトリストで不正なサイトへの誘導を遮断する、そのホワイトリストをDNSを利用して安全な管理・運用を行うという提案が的確にまとめられている。従来の問題点を多面的に分析し整理したうえで、それらの問題点への対応を示し実装評価も行うなど信頼性も高い。特に、一般ユーザ、Webサイト管理者、DNS管理者の三者の関係に注目し、ホワイトリストをWebサイト管理者が作成して提供するという発想で誤検知発生を抑える方式を実装したことは、セキュリティマネジメントの観点からも高く評価でき、セキュリティマネジメント学生賞の受賞に相応しい。

2 . セキュリティマネジメント学生論文努力賞

- 主筆者 今井 和人 さん

(工学院大学 情報学部 情報学部情報デザイン学科)

『クラウドサービスの情報セキュリティ開示についての分析』

講評: 本論文は、クラウドサービスの多くの利用者が情報セキュリティについて不安を抱いていることを既存の調査結果に基づいて確認するとともに、サービス提供者がセキュリティについて開示すべき事項が統一性をもって十分には開示されていないことをアンケート調査とその統計的分析によって確認し、こうした情報開示がクラウドサービスの発展に必要であることを明らかにしている。今日的な課題であるクラウドサービスの情報セキュリティについて、その解決に貢献するところが大きく、努力賞に値する。

セキュリティマネジメント学生賞は、賞状に加えて賞金 10 万円が、セキュリティマネジメント学生論文努力賞は、賞状に加えて本学会の全国大会並びに学術講演会の招待券が授与されます。

受賞された皆様、おめでとうございます。